横浜ベイサイドマリーナ
ISPAクルーザースクール

第22回　コンピテントクルー・ディスキッパー

Log Book

2010年7月14日（水）～19日（月）

Day 1　　2010年7月14日 （水）

時 刻	記 事
13:00	受講者集合
13:15（13:45）	受講者の自己紹介（以下敬称省略・申し込み順）
①金 根亨	1.54歳 ／ 2.ISPAを知ったメディア等：インターネット検索
	3.動機・期待・目標等：以前パワーボート（26’）を所有しいていたが、セーリングに対する憧れがあった。
	自分の所有する会社（飲食業）の運営も一段落してきたので、インターネット検索で見つけて思い切って
	申し込んでみた。きっと楽しいと思うので、是非基本をものにしたい。
②関 照正	1. 63歳 ／ 2.ISPAを知ったメディア等：ベイサイドマリーナに貼り出してあった広告
	3.動機・期待・目標等：以前から海に対する憧れがあった。マリーナと自宅が近いので、たまに訪ねてきて
	船を見ていた。今年3月に現役を退き、自由になる時間ができたので、一念発起してセーリングを学ぼうと
	決心した。25年前に小型船舶1級を取得し、野尻湖でヨットに乗ったことがある程度で、ほとんど未経験の
	分野だけど、がんばって基本を体得したい。
③佐藤 定春	1. 56歳 ／ 2.ISPAを知ったメディア等：雑誌「舵」
	3.動機・期待・目標等：35年前にヨットを始めた。ホッパーで自学して、スナイプや470にも乗ってきた。
	また25年ほどの間、会社のクラブ等に参加してセーリングを楽しんできた。
	サラリーマン生活も終わりに近いので、定年前に自分のスキルとしてセーリングをものにしておきたい。
	今年の夏のカナダのコースタルコースに参加することになっており、コンピテント・クルーからディスキッ
	パー、コースタルまで一気に履修することにした。基本に帰ることで勉強しなおしになると思う。
④豊田 昌樹	1. 49歳 ／ 2.ISPAを知ったメディア等：友人の金さんに誘われた
	3.動機・期待・目標等：趣味で以前からスクーバダイビングを楽しんでいる。国内外のいろんなダイビング
	スポットへ出かけているので海に関することは抵抗はない。セーリングについてはこれまで触れる機会が
	無く、予備知識もほとんどないが、友人の金さんに誘われて参加することになった。どんな世界であるかを
	知りたいのと是非ヨットを操作できるようになりたい。
13:45（15:00）	講義（ガイダンス）＝ISPAの説明、資格内容・システム、クルージングとは
15;15（16:15）	実習艇「ベイサイドウインド」上での説明（佐藤さん以外はヨットに触れるのは初めて）
	左から、
	豊田さん
	関さん
	金さん
	佐藤さん
	講義＝、ウインチの使い方、マリンヘッドは実器材を使用して説明
16:30（18:00）	講義＝ドッキング、ロープワーク、名称、メインセール、フォアセール、用語等の講義
18:30（20:30）	親睦の食事会
	解散 （金さん、豊田さんはホテル宿泊、関さん（10分）、佐藤さん（1,5時間）は自宅から）

Day 2　　2010年7月15日 （木）

時 刻	記 事
09:00	天候 SSWの風、10m/s 晴 気温30℃
	鈴木メモ:初日から瞬間では10m/sを越す強風のため、外力を加味しない場合のボートハンドリングの基
	本が実習できないというデメリットを懸念しました。
09:12(11:45)	実践＝ボートハンドリング、ドッキング
	①ヘルムスマン:佐藤さん／クルー:金さん
	経験者の佐藤さんの
	操船を全員が真剣に
	なって見ていました。
	② ヘルムスマン:金さん／クルー:佐藤さん
	ドッキング実習の桟橋
	をセンターハウス前の
	ブランケットゾーンの
	ビジター桟橋に変更
	しワンラインドッキング
	の練習を実施
	③ヘルムスマン:関さん／クルー:豊田さん
	船がまったく初心者の
	二人の組み合わせです。
	ワンラインドッキングは
	基本に忠実に行えば
	誰でもスマートに離岸・
	着岸をこなすことが
	できます。
	④ヘルムスマン:豊田さん／クルー:関さん
	全てが初めてのことに
	なるので、終始真剣な
	関さんと、緊張を冗談で
	なんとかしようとして
	なんともならない
	豊田さんでした。
	鈴木メモ:強風下のドッキング実習は、センターハウス側のブランケットで実施することでクリアできました。

Day 2　　2010年7月15日 （木）

時 刻	記 事
13:00	天候 SSWの風、11m/s 晴 気温32℃
13:00(13:30)	講義＝ポイントオブセール
13:45(14:10)	講義＝前後双錨泊の錨とロープの準備を実習艇係留の桟橋で実施。
14:20(15:00)	実践＝桟橋上での錨システムのディスプレイをそのまま艇に搭載し、港内で投錨・揚錨作業を実習
15:30(17:00)	実践＝機走によるポイントオブセール
	錨を揚収したあと、
	いよいよ港外へ進出
	機走によるポイント
	オブセールを実施
	佐藤さん以外は
	風向と艇の針路との
	関係に四苦八苦でした
17:45(19:00)	講義＝安全に関する注意事項、安全・危機管理、安全備品、低気圧のできる訳、セールのベンドオン
	本日航海時数:5時間3分

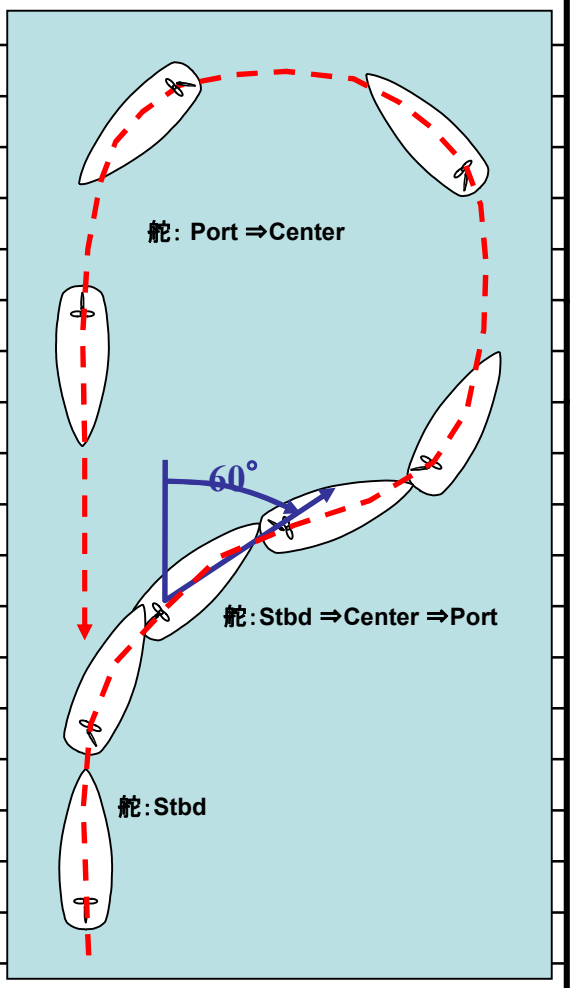
Day 3　　2010年7月16日 （金）

時 刻	記 事
09:00	天候 SSWの風、8m/s（瞬間最大11m/s） 晴 気温31℃
09:00（10:30）	講義＝走らせ方の基本、テルテイルの構造とその見方、カミングアバウトの手順、ジャイビングの手順
10:45（12:20）	実践＝ドッグ係留状態でのセールのベンドオン
13:00	天候 SSWの風、9m/s（瞬間最大15m/s） 晴 気温33℃
13:23（16:41）	実践＝ポイントオブセールでのセーリング、カミングアバウト、ジャイビング
	かなりの強風のため
	メインセールは終始
	2Pリーフで帆走実施
	最大ヒールは45°
	鈴木メモ：強風のためテルテイルを見ながら正確に帆走する微妙な実習ができなかったのが残念です。
15:45（19:00）	講義＝航海灯、事故防止、衝突防止、インターナショナルブイシステム
	本日航海時数：3時間18分／累計航海時数：8時間21分

Day 4　　2010年7月17日 （土）

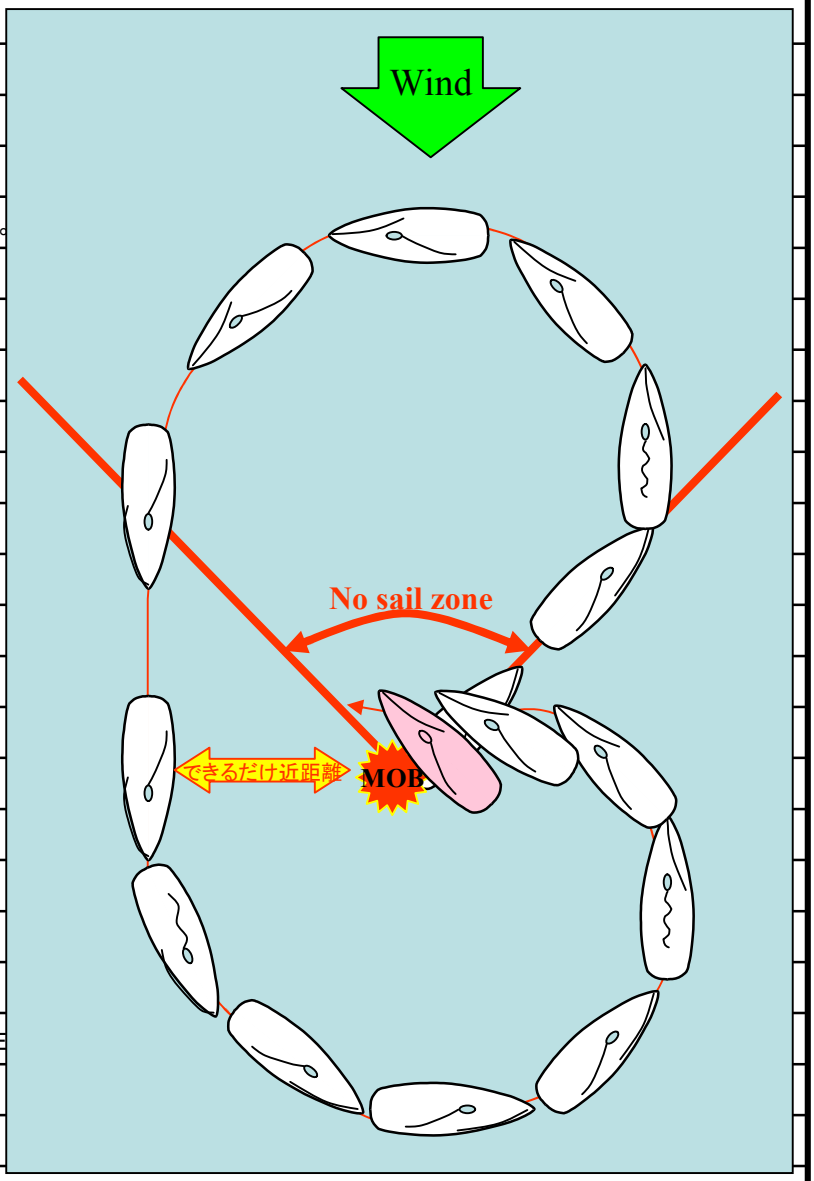
時 刻	記 事
09:00	天候 SSWの風、9m/s（瞬間最大13m/s） 晴 気温31℃
09:00（10:15）	講義＝MOB、機走（ウイリアムソンターン）によるMOB救助、セーリングによるMOB救助
10:30（10:50）	ベンドオン （ベンドオンも2回目でスムーズに進んでいました）

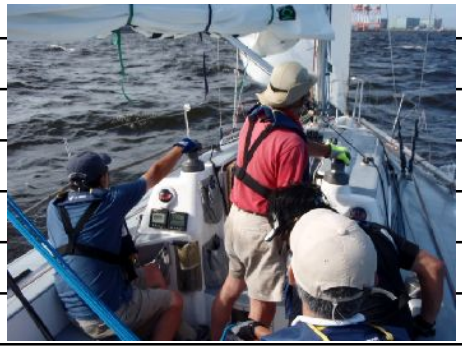
10:44（12:21）	実践＝MOB救助、ウイリアムソンターン
	現針路⇒右転⇒現針路+60° ⇒左転
	⇒現針路+180° ⇒定針（レシプロカルコース）
	人がやっているのを見ていると簡単に計算できるのに、
	自分の番になると不思議と思うように計算できず、
	みんな四苦八苦でした。
	午前中一杯ウイリアムソンターン練習を実施



Day 4　　2010年7月17日 （土）

時 刻	記 事
13:00	天候 SSWの風、10m/s（瞬間最大14m/s） 晴 気温33℃
13:22（15:00）	実践＝セーリングによるMOB救助
	佐藤さんは風と艇の相対関係が
	理解できているので、セーリング
	によるMOB救助はスムースでした。
	他の皆さんは、図のような形で
	艇を操作しているという実感が
	ないうちに終わってしまったよう
	でした。
	初めて舵を操作してからわずか
	三日目でこのような高度な
	テクニックを実践することになり
	ますが、大変重要で有効なもの
	ですので、今後チャンスがあったら
	マスターできるようにしてください。
	鈴木メモ：このマニューバを体験
	するためには、少々風が強すぎ
	ました。ただし、実際にMOBが発生
	するのはハードな海面のときの
	可能性が高いので、いい経験に
	なったと思います。
	重要なのは落水しないことです。
15;00（17:14）	実践＝セーリング、カミングアバウト、ジャイビング
17:45（19:00）	講義＝ヨットの走る訳、ハイポセラミア、ヒービングトゥー、リーフ作業
	本日航海時数：5時間29分／累計航海時数：13時間40分





Day 5　　2010年7月16日 （日）

時 刻	記 事
09:00	天候　SSWの風、7m/s（瞬間最大11m/s）　晴　気温30℃
09:20（11:45）	実践＝ドックでリーフ作業

13:00	天候　SSWの風、8m/s（瞬間最大12m/s）　晴　気温33℃
13:05（16:51）	実践＝洋上でのリーフ作業

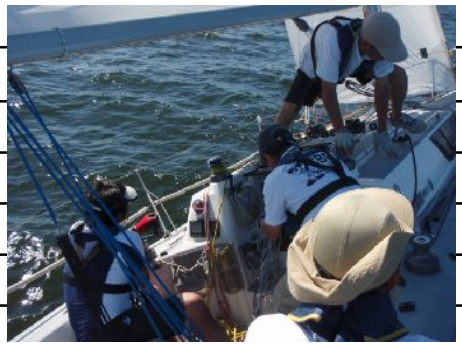
	鈴木メモ：風の強い状況のため、フルメインは不可能でした。リーフ実習訓練は、1P ⇔ 2P の往復での
	実施になりましたが、極めて実践的な状況でした。
17:15（19;00）	講義＝緊急時の対応、タイドとカレント、パッセージ準備、パッセージプランニング、パイロッティング。
	本日航海時数：3時間46分／累計航海時数：17時間26分

Day 6　　2010年7月19日 （月）

時 刻	記 事
08:00	天候　Sの風、6m/s（瞬間最大8m/s）　晴　気温30℃
07:50（08:17）	ベンドオン

全員で協力してのベンドオン作業
数日前までヨットなんて触ったことが
なかった人が三人もいるという雰囲気は
まったくありません。
他所からこの風景を見た人がいた場合、
それなりのスキルレベルの集団に見える
はずです。

08:17	出港
	フルメイン＋No.3ジブにより帆走開始　クローズホールドで横須賀沖へ航行



このスクール期間中で始めてのフルメイン帆走

Day 6　　2010年7月19日 （月）

時 刻	記 事
09:25	ジブセールダウン、メインセールを維持した状態で田浦港へ進入
	あずま島の水路を海上自衛隊横須賀地方総監部方面（船越地区⇒逸見地区）へ通狭
	水路を抜けると、アメリカ海軍基地に停泊中の空母「ジョージワシントン」が遠望できました。
09:50	横須賀港内の社会科見学を修了して、帆走再開
11:15	マリンポートコウチヤ入港準備のため、セールダウン作業実施中
11:32	浦賀港　マリンポートコウチヤ　入港

Day 6　　2010年7月19日 （月）

時 刻	記 事
11:45(13:10)	コウチヤのレストランで昼食
	三連休最終日のため、食事が出てくるのに時間がかかり滞在が長くなり十分休憩できました。
	レストランに座って いると、駆け出しの ヨットマンという 雰囲気ではなく、 かなりのベテランの ように見えます。
13:34	マリンポートコウチヤ　出港
	天候　Sの風、8m/s(瞬間最大10m/s)　晴　気温33℃
	順風をうけて、快速でベイサイドマリーナへ向かう
15:23	ベイサイドマリーナ入港 （撤収）
	本日航海時数:5時間4分／累計航海時数:22時間34分
16:15(17:00)	説明　資格終了証サイン、解散

Day 6　　2010年7月19日 （月）

仕上げセーリング航跡図

時 刻	記 事
08;17	横浜ベイサイドマリーナ出港
11:32	マリンポートコウチヤ入港
13:34	マリンポートコウチヤ出港
15:50	横浜ベイサイドマリーナ入港